

評語

時の懸望者之候高堂益之印社家大異幸候 陳者私等新
 湯鉄工折後業負去る三月の常勤卒業は諸考の甚大なる印社
 依り一先分解除結片りキを兼心より保許致す方印社
 然る處再び今分りし紛擾を引起すに至りしは諸考ニ対し
 甚分遺憾を存するものには、然り今田の卒業の原因は先般の
 卒業ニ社中も退職手あり制定し之を成て今社之印社
 置ておめり今田故意に約束を無視し解雇手あり
 表しりは申す近々あり今社の態度は私等後業負を
 弄購着し一々あるものなり
 私等は改めし退職手あり制定し之を成て今社之印社
 之に依り然る處今社ニ社には私等在三月の印社
 之對し申す處を今社に私等は社一般の平和を望み
 之揚手一先分解除手あり取柄私等も要求を引下し
 の感徳の活きるを待ち解め之両方より専負を退か
 あり制定し之を成て今社之印社
 矣然三日の休業中ニ余名の後業負を職前
 然り者私等は専らを致すまぬが故に休業中
 極めし解め之入場手あり今社之印社